

## 中部圏整備部会 議事要旨

### 1 日時

平成21年5月18日（月）午後3時～午後4時30分まで

### 2 場所

愛知県産業貿易館 本館5階 特別会議室

### 3 出席委員

川口部会長、佐藤委員、竹内（傳史）委員、竹内（礼子）委員、林委員、舟岡委員

### 4 議事（概要）

#### （1）開会

#### （2）議題

〔1〕中部圏及び北陸圏広域地方計画の策定状況について（報告）

資料3-1により中部圏広域地方計画推進室長、北陸圏広域地方計画推進室長が説明。

〔2〕広域自立・成長政策委員会等の設置について（議案）

資料4-1、4-2により事務局が説明。

### 5 主な発言

#### （1）中部圏及び北陸圏広域地方計画の策定状況について

○この計画の通り実行されれば、望ましい中部圏・北陸圏ができるのではないかと。

○観光産業は非常に重要。観光面において諸外国と比較した際、道路標識等の案内表示の統一的なサービスが欠けている。また、美しい景観を保ち、住民にとってすてきな街でないと、観光客は来ない。

○長野県は陸の孤島である。中部縦貫自動車道の費用対効果を精査し効果が高いのであれば、整備すべき。

○中部国際空港を24時間化するには、2本目滑走路の整備が重要な課題。

○北陸圏にスーパー中枢港湾という発想がないのは、弱点である。

○北陸圏と中部圏が互いの機能を補完しながら競争的な連携を達成していくことが重要。

○水の恵みを共有していることが、中部圏・北陸圏の特徴であり、上流部から下流部にかけて安全な住まいをどうするかが重要。農山村を守りながら、下流の災害も克服し、いきものも共生するという説明が必要。

○少子高齢化、食料自給率、環境問題等に対して、それぞれの地域がどのように対応するのか、日本全体でブロック毎に計画を立てることは重要。

○緊急時、平時共に多言語で情報を提供するということが足りていない。外国人に対しても、

日本人と同じだけの情報を提供することが非常に大切。

○全国計画に「選択と集中」とあるが、広域地方計画の戦略には「選択と集中」が読み取れない。

○土地利用が非常に重要な基軸。例えば、都市と農村のクオリティストックの実現。

○人口減少社会を迎えることや、物流等で日本海側の役割が増していることなどを踏まえ、時代の先を読んだ整備計画をたて実行することが重要。

## 6 議案について

議題2の「広域自立・成長政策委員会等の設置について」は了承された。